

# 美 楽 舎

会報 第277号 (平成26年11月発行)

東京都中央区京橋 3-9-2 プラザ京橋ビル K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004 メール [kgallery@eagle.ocn.ne.jp](mailto:kgallery@eagle.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://bigakusya.com/>

## 第301回 (10月) 例会

### 北川健次氏 講演トーク 「コレクションとは何か—北川健次」

2014年10月12日(日)

参加者：会員、ゲスト計10名

<例会幹事 鈴木忠男>

当日は10名程の出席者となった。録音機器をかけておいたが、どうも再生がうまく出来ず、メモ書きの清書を北川さんに見てもらったが、実際の半分位の内容まとめとなる。

○コレクションとは単に集めることではなく、心を揺さぶるような一点を探し出すこと。

○種村季弘の著作を読み、先ずはH・ヤンセンの影響から入り、油画から始めてメゾチント版画を知る。三島由紀夫の近代能楽集の舞台藝術に感銘を受け手紙を出したが、その一週間後に自決してしまった。その後に自分探しを始めた。多摩美3年生の時には棟方志功が作品を賞賛してくれ、その後には池田満寿夫が個展をプロデュースしてくれ作品を購入してくれた。



○駒井哲郎との最初の出会いは20歳頃、多摩美で腐蝕作業をしている時に背後から駒井が見ている、良い作品を作りますねと云われた。また駒井から腐蝕版を見せられ感想を聞かれたので弱いと思いますと答えたら、その版を切って小さい作品にした。私が「姉妹」とタイトルを付けた作品を駒井は「双生児」にしてはどうかと云われたが断った、その様に私と駒井氏とは言語感覚が違う。駒井とは師弟関係ではないし、また先生という言葉には不自然な響きを感じてしまう。

○ゴヤやヴォルスを知り、「A・ランボー展」(フランス)では自分の作品がジャコメッティ、エルンスト、クレーほかと共に展示され強い自信を得た。ジム・ダインも展示され、後年会うことが出来た、年はとっていたがまだまだ現役でぎらついている印象だった。